

オランウータンの生息環境を再現

札幌市
円山動物園

1951年に開園した札幌市の円山動物園は、2007年に策定された「札幌市円山動物園基本構想」に基づき老朽化の進んだ施設を順次リニューアルオープンしてきました。その間、岡三リビックではアジアゾーンやホッキョクグマ館等さまざまな工事において、人工岩「ロッキーステージ」をはじめとした施設内の展示の演出に携わってきました。



昨年5月にオープンした新施設「オランウータンとボルネオの森」はバックヤードも含めた面積で旧施設の3倍となり、室内空間の高さも8mを確保。本来の生息環境である東南アジアの熱帯雨林の再現を目指しつつ、オランウータンが生来持つ運動能力を充分に発揮できる空間となることを目指しました。

展示場内には多くの擬木や擬藁などを設置し、樹上での生活を基本とするオランウータンが木々の間を長い腕と脚で小気味よく移動する様を見ることができます。また観覧通路

には熱帯性植物が自生する環境を再現し、その植物の栽培と保守の意味も含めて定時的に天井からスコールを降らせるなど、まるで観覧者がオランウータンの生息エリアに入り込んだような演出がなされています。

岡三リビックではこの工事において、建屋の屋根を支える三十数本の構造柱（鋼管パイプ）をボルネオに生息する高木の姿に変身させました。コストダウンを図る為に、観覧通路部はモルタル造形を施したリアルな仕上げ、オランウータンの展示部は塗装により樹皮を疑似的に再現とするなど仕上げレベルのグレード分けを行いました。

生育環境の再現に並々ならぬ熱意で挑んだ円山動物園。現在観覧通路には演出用の作り物の昆虫や小動物が設置されていますが、将来的には

蝶や小鳥、魚といった本物の生物も同施設内で飼育し、森の多様性の再現を目指したいといっています。

ところで、以前当社で施工を担当したサル山前の「フォトリックアート」の動物看板。円山動物園の集合写真といえばこの看板前ですが、こちらもデザインを刷新しリニューアルされました。

岡三リビックでは、全国の観光地にインスタ映えするフォトスポットを設置するサポートをしています。

工事概要

施主：札幌市役所
工事名：円山動物園（仮称）オランウータン館新築工事（主体工事）
施工会社：伊藤組土建株式会社
商品名：ロッキーステージ
フォトリックアート



公園では渋沢ゆかりの建物として、書庫「青せいえん淵文庫」や洋風茶室「晩ばんこうろ香廬」を残しているほか、氏の生涯を紐解く「渋沢資料館」に「紙の博物館」「北区飛鳥山博物館」の三つの博物館を抱え、桜の季節でなくても楽しめる場所となっています。

新幹線や東北本線からも見える場所ですが、王子駅に停まるのは京浜東北線のみ。散策がてら脚を伸ばして歴史情緒を偲ばれてはいかがでしょうか？

またこの明治六年には、新一万円札でおなじみ渋沢栄一が王子に「抄しゅうし紙会社（現在の王子製紙株式会社）」を設立。

同十二年に製紙工場を見下ろせる飛鳥山に土地四千坪を買い、賓客をもてなす別荘を建てました。そして同三十四年には建物を改築して本邸とし、六十一歳から亡くなる九十二歳までをこの地で過ごしました。

飛鳥山公園 業務・品質管理部 三平英雄

東京都北区のJR王子駅に隣接する飛鳥山公園は、都内有数の桜の名所として知られています。

ここを桜の名所に仕立てたのは八代将軍徳川吉宗。享保の改革の施策のひとつとして、桜の苗木を植え江戸庶民の行楽の場として開放したのです。明治六年には上野や芝・浅草・深川とともに日本で最初に「公園」として指定もされました。

お国自慢

岡三リビック
商品群

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法
ダイブハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100
維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシリカ Tn-p工法 ローマットHDB
鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いどり工法 フォトリックアート

多数アンカー「NDパネル」で健全性診断

愛媛県
久万高原町

愛媛県の南部、高知県との県境にあたる「四国カルスト高原」は、その風光明媚さで知られており、尾根筋には高原を横断する「四国カルスト道路」が整備されて多くの観光客を集めています。

県ではこの道路をより地域経済全体の活性化に結びつけるため、観光地間アクセスを向上する「四国カルスト道路網」として地域全体のボトムアップを図っています。

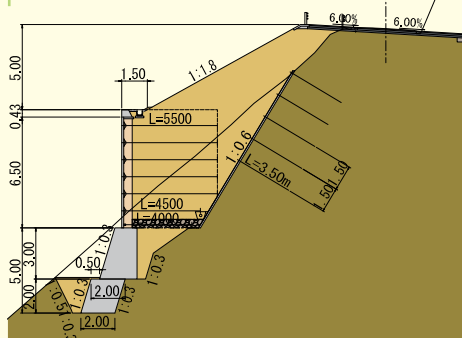
そうした道路のひとつが久万高原町の県道猪伏西谷線。危険箇所排除や、幅員・線形の向上で産業活動の活性化や救急搬送の迅速化を目指す改良工事が行われました。

このうち盛土区間で採用されているのが「多数アンカー式補強土壁工法」。幅広い土質に対応できるため現地発生土の再利用などにも好適な補強土工法です。



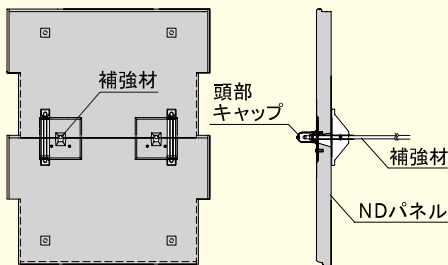
さらに同現場は壁面材にNETISにも登録されている「NDパネル」を一定間隔で組み込んでおり、後々のメンテナンス性にも配慮されています。同壁面材は補強材先端が壁の外側にまで突出した構造となっており、実際に構造上機能している補強材の状態を、施工後にも非破壊検査によってチェックできるよう配慮されています。

多数アンカー式補強土壁は、土中の構造物のより正確な情報を確認することができる工法です。



工事概要

施主：愛媛県久万高原土木事務所
工事名：土対道改第4号の2（一）猪伏西谷線土砂災害対策道路工事
施工会社：羽澤建設株式会社
商品名：多数アンカー式補強土壁工法（NDパネル組込）213m²



診断対応型NDパネル (NETIS:KT-220155-A)

徒然月記

記：編集T

信じるも信じないもあなた次第

〈将門の首塚〉

東京都千代田区丸の内にある平将門由来の史跡。関東大震災後の復興工事の一環で大蔵省がここに仮庁舎を建てようとしたところ、関係者の不審死が相次ぎ工事中止に。太平洋戦争後にもGHQが当地を更地にしようとしたが事故が起き、ついでの首塚の碑まで出土してしまった。現在も移設されずにあるため、超高層ビル街の貴重なポケット空間に。

〈初鹿野諏訪神社〉

はじかの山梨のJR甲斐大和駅すぐにある神社のホオノキは、枝を折るところか葉っぱにすら触れてはいけないという。明治時代に近所の集落民がこのホオノキの葉を柏餅にして食べたところ、なんと集落全員が病死。昭和期にも、線路にはみ出した枝を剪定した保線作業員が間を置かず他界、作業前に念のためとお祓いをした神職すら池で溺死したそう。現在は線路をシェルターで囲い、木の枝が電車の運行に影響のないようにしている。

〈西宮の夫婦岩〉

兵庫県道八二号線の途中に二つに割れた巨岩があり、この岩を挟むように道が上下線に分かれている。道路拡張の計画で岩を撤去しようとした工事関係者複数が亡くなり、以来手つかずにされているのだとか。一説には、割れた岩の間に入ると生気運氣が奪われるらしい。



岡三リビング株式会社

東京都港区港南1-8-27 日新ビル ☎03-5782-9080



札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野
静岡・名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡
鹿児島・沖縄リビング・岡三リビングベトナム